2003年センター報告・日誌

＊フランクリン文庫保存事業

昨年に引き続き，全資料に対する劣化調査を行うと共に，装丁の壊れが激しく利用に供することが著しく困難な仮綴じ本の再製本作業，および大量のパンフレット類の保存容器入れ作業・再製本作業を中心に，その他必要な保存処置を行っている。仮綴じ本の再製本作業は専門家による外注とセンター内保存修復工房で分担して行っている。経費は，如水会の援助金で行った。なお，如水会の援助金は今年7月で終了したが，保存修復作業が必要なものが，残っている。

＊ギールケ文庫保存事業

一橋大学後援会より奨学寄付金の助成を受け，今年度から5カ年計画として，ギールケ文庫の保存修復事業を開始した。ギールケ文庫に多数見られる，半世紀以上前に，日本でバインダーを用いて簡易製本された資料の，保存容器入れ作業・再製本作業を中心に，その他必要な保存処理を行っている。

＊フランクリン文庫総目録作成及びCD-ROM化事業

今年度は科学研究費（研究成果公開促進費）の助成を受け，不足分は「125周年記念募金」の援助で，昨年度にひきつづきデータシート作成および入力作業を行っている。

第4回西洋古典資料保存講習会

下記の内容で，8月4日(月)から8月6日(水)まで3日間開催し，全国の国公私立大学図書館等から6名参加（前回までの4名に2名プラス）で，実習を中心に行った。

1	材料と環境	増田勝彦　昭和女子大学教授
2	劣化調査と保存計画	石井　健　北海道教育大学岩見沢校助教授
3	製本構造，クリーニング，保革油，保存容器，簡易製本，書見台	岡本幸治　製本家・書籍修復家

第23回西洋社会科学古典資料講習会

下記の内容で，11月11日(火)から14日(金)まで4日間開催し，全国の国公私立大学図書館等から30名が参加した。

古典研究

(1)	スコットランド啓蒙と経済学（political economy）―回顧と展望―	田中秀夫　京都大学教授
(2)	マルサスの経済思想と『人口論』	渡会勝義　早稲田大学教授

書誌学

(1)	フランクフルト大学図書館ユダヤ関係文献	植村邦彦　関西大学教授

コレクションについて

（2） 18世紀トゥールーズ知識人の読書　山﨑耕一　一橋大学社会科学古典資料センター教授

（3） 図書館員のための書誌学入門　武者小路信和　大東文化大学助教授
—記述書誌の読み方を中心に—

（4） リヨン第2大学ワルラス研究所編　御崎加代子　滋賀大学教授
『ワルラス全集』について

（5） 西洋古刊本タイトルページを読む楽しみ　西村重雄　九州大学教授
—ローマ法関係書籍を中心に—

保存・修復

（1） 紙資料の保存　増田勝彦　昭和女子大学教授

（2） 保存情報としての製本構造　岡本幸治　製本家・書籍修復家

古典センター見学（書庫・所蔵資料・保存作業工房）

日誌（2003年1月〜12月）

2月19日　第61回社会科学古典資料センター運営委員会
議題：1　教育研究の「中期目標・中期計画」に関する社会科学古典資料センター参考資料について
2　来年度以降の保存事業について
3　国立大学の法人化に向けた2004年度概算要求について
4　「一橋大学社会科学古典資料センター図書およびマイクロ資料利用規則」の一部改正について
5　センター助手の割愛について

3月4日〜27日　貴重書（貴A〜C）クリーニング

3月20日　第17回社会科学古典資料センター主催講演会
演題：ラマルチーヌ『ジロンド派の歴史』執筆前後　講師：大野一道（中央大学教授），演題：ミシュレの書簡集—歴史哲学への道　講師：立川孝一（筑波大学助教授）

3月31日　一橋大学社会科学古典資料センター年報 第23号発行
Study Series No. 49：黒須純一郎『フランチェスコ・フェッラーラの経済的自由主義』発行
Study Series No. 50：セオドア・ベスターマン（訳 石井 健）『ブックマン50年　1973年アランデル・エズデイル講義』発行

5月2日　第18回社会科学古典資料センター主催講演会
演題：いかにしてフランス革命はラディカルになったか？　講師：ティモシー・タケット（カリフォルニア大学教授）

5月21日　第62回社会科学古典資料センター運営委員会
議題：1　平成14年度事業報告について
2　平成14年度決算報告について

3　平成15年度事業計画について
4　センター助手の人事について

8月4日～6日　第4回西洋古典資料保存講習会開催

8月～9月　蔵書クリーニング，蔵書移動及び蔵書点検（貴A～K他 9月1日～3日休館）

11月11日～14日　第23回西洋社会科学古典資料講習会開催

11月29日　第19回社会科学古典資料センター主催講演会
演題：グルネの「レッセ・フェール，レッセ・パッセ」
（自由放任）―その呼びかけ250年の記念によせて―
講師：津田内匠（一橋大学名誉教授）

12月3日　第63回社会科学古典資料センター運営委員会
議題：1　国立大学法人一橋大学社会科学古典資料センター専門委員会規則(案)について
2　一橋ディジタルアーカイヴスへの『一橋大学社会科学古典資料センター年報』の登録申請について
3　『年報』の投稿論文審査に関する取り扱い要領(試案)について
4　蔵書点検結果について
5　『スタディーシリーズ』の編集について
6　『年報』の編集について

〔追記：2002年1月12日 第16回社会科学古典資料センター主催講演会
演題：公共事業と経済学―フランスの土木エンジニアは古典をどう読んだのか？
講師：栗田啓子（東京女子大学教授）〕

利用状況（2003年1月～12月）

開館日数	223日
利用者	253人
（学内）	113人
（学外）	74人
（文献複写）	66人
利用冊数	1504冊
複写冊数	170冊